

## 2020年3月期 第3四半期連結決算報告 (2019年4月1日～2019年12月31日)

- 欧州を中心に、自動車生産台数の減少と建築用ガラスの供給増により市場環境がさらに悪化
- Q3に入りさらに悪化した事業環境が Q4 も続くことを想定し、通期業績予想を修正
- 収益改善と成長への取り組みを継続

### 欧州を中心に、自動車生産台数の減少と建築用ガラスの供給増により市場環境がさらに悪化

- 売上高は4,258億円（前年同期比△7%）  
為替変動の影響に加え、主要地域の市場環境悪化により減収。為替影響を除けば前年同期比3%減
- 無形資産償却前営業利益は194億円（前年同期比△29%）  
自動車用は欧州の数量減が継続、Q3は日本も悪化  
建築用は欧州を中心に市場環境のさらなる悪化と稼働率の低下  
一方で太陽電池パネル用ガラスの出荷は堅調

	売上高		無形資産償却前営業利益	
	FY20 Q3	FY19 Q3	FY20 Q3	FY19 Q3
建築用ガラス事業	1,801億円	1,867億円	140億円	184億円
自動車用ガラス事業	2,146億円	2,350億円	53億円	91億円
高機能ガラス事業	302億円	367億円	54億円	64億円

- 親会社所有者に帰属する当期利益は12億円（前年同期比△88%）  
営業利益の減少に加え、前期の一過性の持分法投資利益がなくなった影響

### Q3に入りさらに悪化した事業環境が Q4 も続くことを想定し、通期業績予想を修正

- 建築用ガラス事業：供給増による欧州、東南アジアでの市場環境悪化、稼働率低下
- 自動車用ガラス事業：欧州カーメーカーの生産台数減による数量減と稼働率低下と、日本のQ3以降の急速な数量減
- 高機能ガラス事業：欧州、中国を中心とした自動車生産の減少がガラスコードの需要に影響
- 戦略投資を除く通常のフリー・キャッシュ・フローはプラスを目指す

### 収益改善と成長への取り組みを継続

- コスト削減対策も含め、抜本的な収益改善施策は引き続き検討、実施
- 来期以降の成長に寄与する戦略投資、新事業開発は継続的に取り組み

<2020年3月期第3四半期 連結決算説明資料より抜粋>

## 連結損益計算書

(億円)	2019年3月期 4月-12月期	2020年3月期 4月-12月期	増減
売上高	4,595	4,258	(337)
無形資産償却前営業利益	272	194	(78)
償却費 *	(15)	(14)	1
営業利益	257	180	(77)
個別開示項目	(33)	(44)	(11)
金融費用 (純額)	(102)	(95)	7
持分法による投資損益	49	12	(37)
税引前利益	171	53	(118)
当期利益	114	19	(95)
親会社の所有者に帰属する当期利益	105	12	(93)
EBITDA	467	432	(35)

\*: ビルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却

2020年1月30日 | 2020年3月期第3四半期決算報告

## 連結業績予想の修正

(億円)	2019年3月期 実績	2020年3月期 通期見通し (当初)	2020年3月期 通期見通し (Q2決算時)	2020年3月期 通期見通し (今回修正)	差異
売上高	6,128	6,200	5,700	5,600	(100)
無形資産償却前営業利益	388	370	310	230	(80)
償却費 *	(19)	(20)	(20)	(20)	-
営業利益	369	350	290	210	(80)
個別開示項目	(71)	(60)	(70)	(70)	-
金融費用 (純額)	(133)	(140)	(140)	(130)	10
持分法による投資損益	62	40	20	20	-
税引前利益	227	190	100	30	(70)
当期利益	144	120	40	(20)	(60)
親会社の所有者に帰属する当期利益	133	110	30	(30)	(60)

\*: ビルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却

1月30日 | 2020年3月期第3四半期決算報告

決算関係問い合わせ先:

● IR部: 03-5443-0100

報道関係問い合わせ先:

● 広報部: 03-5443-9477